

# 農林漁業のうごき

京都府 No.180 平成29年 なつ号

平成29年1月・2月の雪害からの  
復旧が進んでいます!

(3ページに関連記事)



## 主な内容

<b>特集 1</b>	平成29年春の叙勲・褒章受章者の喜びの声……………	2
<b>特集 2</b>	～1日も早い復旧に向けて～ 大雪被害に対する支援の取組……………	3
<b>特集 3</b>	新たな「鳥獣保護管理事業計画」及び「特定鳥獣保護・管理計画」をご紹介します……………	4
トピックス	全日本学校関係緑化コンクールで、亀岡市立東輝中学校が文部科学大臣賞を受賞！……………	5
	／第1回「森の京都」森林教室を開催／伝統－森林－未来へ ～森林と関わる暮らしの歴史を学ぶ～ 「森林と市民を結ぶ全国の集い in 京都」を開催	
	大阪・淀川の毛馬水門で捕獲した天然鮎3千尾以上を放流！／食育マンガを作成しました！……………	6
	京のこだわり畜産物生産農場 登録拡大中！……………	7
<b>お知らせ</b>	／地域の竹バイオマス活用のヒントに！「京都バイオマス活用優良表彰」を新たに2件表彰 ／「第1回食のみらい宣言・実践活動表彰」を実施しました！ 「海の民学舎」修了生が各漁村で頑張っています！／天王山の竹林整備体験会を開催しました！……………	8
<b>お知らせ</b>	平成29年度 農業危害防止運動……………	8
<b>シリーズ</b>	農林水産技術センターへようこそ 第4回 農林センター……………	9
地域の取組	「きょうと半農半芸プロジェクト」がスタートしました……………	10～11
	綾部市「水源の里・古屋」にトレッキングルートが完成!! 産地振興ふたたび 賀茂なす・壬生菜・伏見とうがらし 地域産木材を活用した「移動式組立茶室」を開発!	
<b>シリーズ</b>	世界に誇れる宇治茶の魅力 第4回「宇治茶の文化的景観」を世界文化遺産に……………	12
<b>お知らせ</b>	第2回 京都府食のみらい宣言実践活動を募集します／京の食6次産業化コンテスト……………	12

特集1

平成29年春の叙勲・褒章受章者の喜びの声

平成29年春、京都府で長年農林水産業に従事してこられた方々が旭日双光章、黄綬褒章を受章されました。この度受章された小山 元治さん、千賀 誠八郎さん、小長谷 芳男さんをご紹介します。

こやま もとほる 元 京都府茶協同組合理事長  
 現 (株)丸久小山園 代表取締役社長  
**小山 元治さん**

先人が築いてこられました日本一のブランドの宇治茶の宇治で、永年、茶業に従事出来ました事は、日頃の<sup>よこ</sup>喜びであります。本物のお茶を多くの人に味わって頂きたいとの想いで常に「品質本位」の茶づくりに努力してまいりました。今回の受勲を励みに、これからも良質の茶を全国の皆様にお届けできるように努めてまいります。

〈御功績〉

48年の長きにわたり茶製造販売業に従事され、全国茶審査技術競技大会で2度、個人優勝されるとともに全国茶品評会の審査員を長年務めるなど、その卓越した鑑定技術は全国トップです。この技術に、科学的な手法を織り交ぜた茶の品質管理法は宇治茶に大きな進歩をもたらしました。京都府茶協同組合理事長の他、要職を歴任されるなど茶業の発展に寄与されました。



旭双

せんが せいはちろう 現 農業  
**千賀 誠八郎さん**

米の生産調整が年々厳しさを増す中、良食味米生産を目標に取り組んでまいりました。今回栄えある受章を糧に更なる努力を重ね地域農業の発展につくします。

〈御功績〉

50年以上の長きにわたり、良食味米の生産や施設園芸、地域農業の環境整備に取り組まれてきました。おからを主原料とした有機質肥料「京の豆っこ」を利用した「京の豆っこ米」の栽培や高品質な酒米「祝」の生産、イチゴの高設栽培を地域の先駆けとして行うとともに、京都農業協同組合理事、農業委員会委員等を歴任されるなど、地域の農業の振興と発展に貢献されました。



黄綬

おぼせ よしお 現 養蜂業  
**小長谷 芳男さん**

本日迄健康で働ける幸せ、又それ以上に栄えあるこのような褒章をさずかり周囲の皆様方の暖かい御支援の御陰と感謝の気持ちでいっぱいであり、益々より一層の精進を心掛け頑張る所存であります。

〈御功績〉

45年以上の長きにわたり、養蜂業に従事され、京都府内では数少ない花粉交配用ミツバチの増殖・供給を行う養蜂家として、地域の野菜採種やイチゴ、メロンなどの園芸農家に500群以上のミツバチを安定供給されています。ポリネーション(ミツバチによる花粉交配)を通じて野菜採種事業をはじめ、地域農業の振興に大きく貢献するとともに、京都府養蜂組合副組合長の要職を務められ、養蜂業の発展に寄与されました。



黄綬

## 特集2

## ～1日も早い復旧に向けて～ 大雪被害に対する支援の取組

平成29年1月及び2月の大雪により、京都府内では農業用パイプハウス1,233棟をはじめ畜産や水産関係施設、森林、京野菜・茶・果樹などの農作物等、農林水産関係で10億円を超える大きな被害が発生しました。

京都府では、被害を受けたパイプハウスの復旧や被害木の除去等のための緊急対策として補正予算を計上し、1日も早い復旧に向けた支援を行っています。

## 南丹

被害発生直後から、関係者による緊急の巡回を重ね、パイプハウスの倒壊状況の把握や、更なる被害を出さないため、支柱設置や暖房等の対策指導、倒木被害の確認を継続して実施しました。

また、市町やJAと緊密に連携して復旧事業を進めるとともに、今年度の普及計画に、特に大きな被害を受けた経営体への支援を追加し、経営再建に向けたコンサルティング等を行うなど少しでも不安を取り除くための活動を行っています。

被災したパイプハウス棟数が府内でも最も多く、被災直後はショックを受けておられた多くの生産者も、少しずつ前向きな姿勢を取り戻され、新たな目標に向かって力強く踏みだそうとされており、南丹広域振興局では、引き続き、きめ細かく伴走支援していきます。

## 中丹

パイプハウスや畜産関係施設に大きな被害が発生したことから、被災農家、JA、各市を対象とした農業生産施設緊急復旧対策事業説明会の開催、JA主導の被災現場撤去作業ボランティアへの府職員の出遣などの支援を行いました。

生産者からは、「被災直後の予算措置などありがたかった」、「作付けなどの作業で復旧作業が後回しになっているが、補助金を利用し復旧させたい」という声や「資材が入ってこないため、再建ができない」、「件数が多く、メーカーからの見積もりがあがってこない」といった不安の声も寄せられており、中丹広域振興局では、1日も早い復旧に向けて支援を進めています。

## 丹後

管内で施設栽培に取り組む生産者の巡回を行い被害防止を呼びかけたほか、積雪により倒壊したパイプハウスの復旧や、茶樹の樹勢回復、果樹の改植等を行う緊急復旧対策事業を積極的に活用いただけるよう、被災農家を対象とした事業説明会を開催しました。

生産者からは、「経営努力を惜しまない農家が報われるような施策をお願いしたい」等の声が寄せられ、丹後広域振興局では、市町・JA等と連携した被災状況の調査や復旧への支援を進めています。



復旧したパイプハウスはタイバーで強化



経営再建に向け巡回支援

急な積雪でパイプハウスに被害を受けることがないように、タイバー・筋交いによる強化やスノーポールの設置、古くなったビニールの張り替え、積雪前からの加温、こまめな除雪など、雪害対策に取り組みましょう。

特集3

## 新たな「鳥獣保護管理事業計画」及び「特定鳥獣保護・管理計画」をご紹介します

京都府内でのシカ、イノシシ等野生鳥獣による農作物被害は年間約3億円と年々減少傾向にあるものの、人身被害や生活環境被害も発生し、いまだ深刻な状況です。京都府では、野生鳥獣被害に対処するため、新たな鳥獣保護管理事業計画及び特定鳥獣保護・管理計画（5カ年計画）を平成29年4月に策定し、適正な保護管理対策を推進しています。

### 【第12次鳥獣保護管理事業計画】 計画期間：平成29年度～平成33年度

鳥獣保護区、特定猟具使用禁止区域等の指定、鳥獣の捕獲許可に関する事項、特定鳥獣保護・管理計画の策定等についての方針等を定めています。

### 【特定鳥獣保護・管理計画】 計画期間：平成29年度～平成33年度

シカ、イノシシ、サル、クマごとに生息数の管理や被害対策など具体的な取組を定めています。

#### ●シカ、イノシシ

平成33年度までに平成27年度時点の生息数半減を目指し、年間捕獲目標をメスジカ1万5千頭、イノシシ1万4千頭として、被害防止捕獲や広域捕獲の実施と捕獲活動に対する支援や、防護柵や捕獲檻の設置などを組み合わせた効果的な対策を推進します。



捕獲されたシカ

#### ●サル

府内の約40群の中でも加害レベルの高い群れを早急に半減させるため、悪質な個体の麻酔銃捕獲、大型捕獲檻による捕獲の強化や、集落ぐるみでの花火等による追い払い、サル被害対策に効果的な電気柵の設置などの取組を推進します。



柑橘を食害するサル

#### ●クマ

生息数の増加により人家周辺での出没が増えていることから、人身被害の回避を最優先に、集落等への出没情報の提供や、捕殺上限数を引き上げての人家周辺での捕獲強化に取り組むとともに、クマを誘引する生ごみや不要果実の除去、樹幹へのトタン巻き、電気柵の設置などの取組を推進します。



養蜂場でクマに壊された巣箱

## 狩猟免許試験のお知らせ

平成29年度の狩猟免許試験を実施します。狩猟免許を取得し、狩猟ライフに挑戦してみませんか。

- 第1回： 7月22日（土） 京都社会福祉会館 ※第1回は終了しました
- 第2回： 9月 9日（土） 綾部市市民センター
- 第3回： 9月24日（日） 京都社会福祉会館
- 第4回： 12月 7日（木） 京都社会福祉会館

詳しくは京都府HPを参照ください

## トピックス

### 全日本学校関係緑化コンクールで 亀岡市立東輝中学校が文部科学大臣賞を受賞！ ～第68回全国植樹祭（富山県）で表彰されました～

亀岡市立東輝中学校では、平成22年以降、毎年、校内のイチヨウの木になる銀杏の実を収穫し、地域バザーで販売する取組を行っています。採集、加工、販売を通じて、生徒たちの環境や緑化に対する意識向上につなげるとともに、その収益金を東日本大震災や熊本地震の被災地への義援金に充て、被災地との絆を深める取組などが高く評価され、今回の受賞に至りました。

受賞挨拶のため京都府庁を訪問されました。  
(平成29年5月31日)



森づくり推進課 モデルフォレスト推進担当 TEL：075-414-5005

### 第1回「森の京都」森林教室を開催

森づくり・緑環境づくり

府内在住の約20名の方に参加いただき、平成29年度の第1回「森の京都」森林教室を5月9日に開催しました。京都府を代表する林業地「京北」を訪れ、磨丸太の生産技術や床柱製品を見学し、木の伝統・文化を伝承することの大切さを学習しました。さらに、府立植物園松谷名誉園長の案内で、丹後広域基幹林道沿線を散策し、満開に咲き誇るシャクナゲ群落や芦生杉の巨木等を観察しながら、森林のもつ様々な機能や林業の果たす役割への理解を深めました。

第2回森林教室は、平成29年秋に開催予定です。



講師の解説を聞きながら  
林道散策

京都林務事務所 林務課 TEL：075-451-5724

### 伝統－森林－未来へ ～森林と関わる暮らしの歴史を学ぶ～ 「森林と市民を結ぶ全国の集い in 京都」を開催

森づくり・緑環境づくり

第40回全国育樹祭を契機に高まった次世代への森林継承の機運を一過性のものとしなないため、去る6月10日～11日の2日間、森林ボランティア団体等を対象に、府内でエクスカーション（野外調査）や基調講演等が実施されました。

参加者はエクスカーションでの体験等を踏まえ意見交換を行うなど、これからの木材利用を含めた森林との関わり方について考えるきっかけとなりました。

漆塗り体験による北山杉の飾り物づくりワークショップ  
(エクスカーション・京都東山コース)



森づくり推進課 モデルフォレスト推進担当 TEL：075-414-5005

ものづくり・販路づくり

## 大阪・淀川の毛馬<sup>けま</sup>水門で捕獲した天然鮎3千尾以上を放流！

淀川水系の府内漁業協同組合と京都府が協力し、海から淀川を遡上する鮎の最初の関門となる毛馬水門で鮎を捕獲し、桂川・宇治川・木津川の合流点付近に放流しました。

この取組は、淀川を遡上する天然鮎が増えた場合の効果を実証し、鮎が遡上しやすい水門管理を実現するために行っているもので、昨年は約650尾を放流し、そのうち6尾が桂川と鴨川を遡上したことが確認できました。

今年は、漁具の改良等により3千尾以上を捕獲し、鮎稚魚を放流。淀川水系の各河川に多くの天然鮎が遡上することが期待できます。



捕獲した鮎を京都の川に放流している様子

水産課 漁政企画担当 TEL：075-414-4992

安心・安全づくり

## 食育マンガを作成しました！（京都精華大学との包括協定）

～「栽培編」「調理編」各6ページ ダウンロードしてお使いください～

子ども達が食に関心を持ち、自発的な学びと実践につながるよう、京都精華大学と連携し食育啓発短編マンガを作成しました。スペシャル食いく先生として、まゆまるから特別に任命されたヤマトタベルくんに教わりながら、子ども達が学校で大根の栽培や食事づくりに取り組みます。ダウンロードして小学生、特に高学年向けの食育の教材としてお使いください。

また、ご家庭でお読みになったり食育や子育てに関する地域行事でもご活用ください。

食育マンガ  検索

※ご利用は非営利目的のものに限ります。



食育マンガ「栽培編」

食の安心・安全推進課 食育・地産地消担当 TEL：075-414-5652

安心・安全づくり

## 京のこだわり畜産物生産農場 登録拡大中！

京都府では、こだわりの飼育方法と徹底した衛生管理で安心・安全な畜産物を生産する府内の農場を「京のこだわり畜産物生産農場」として登録しています。

今年4月に第6回登録証交付式を行い、登録農場は平成25年度の取組開始から52農場まで増えました。

登録農場及び生産された畜産物に関する情報は、府畜産課ホームページで紹介していますので、是非ご覧ください。



新たに登録された12農場の方々(平成29年4月)

京のこだわり畜産物

検索

畜産課 畜産振興担当 TEL：075-414-4981

安心・安全づくり

## 地域の竹バイオマス活用のヒントに！ 「京都バイオマス活用優良表彰」を新たに2件表彰

京都府では、再生可能な生物由来の有機性資源（化石資源を除いたもの）であるバイオマス活用の機運を高めるため、「京都バイオマス活用優良表彰」を実施し、府民の皆様や事業者様などに向けて広く取組を紹介しています。2回目となる今回は、地域で竹バイオマス活用に精力的に取り組む優良事例を、新たに2件表彰いたしました。

前回の表彰を含め、合計13件の優良事例は、京都府ホームページでも紹介しています。

京都府 バイオマス

検索

特定非営利法人「加茂女」（木津川市）	<ul style="list-style-type: none"> <li>竹を食品や器などに活用する工夫</li> <li>経営するカフェなどを通じた地域への竹活用を普及啓発</li> </ul>
亀岡クルベジ育成会（亀岡市）	<ul style="list-style-type: none"> <li>製造した竹炭を用いて生産した農産物を地元スーパーなどで販売する地域循環の流れを構築</li> <li>産学官連携による取組</li> </ul>

農産課 環境にやさしい農業推進担当 TEL：075-414-4945

安心・安全づくり

## 「第1回食のみらい宣言・実践活動表彰」を実施しました！

京都府では、府民の皆様にも主体的に食育活動に取り組んでいただく機運を一層高めるため、自らの食に関する目標の宣言とその実践結果を募集する「食のみらい宣言・実践活動表彰」を実施しています。昨年度の第1回表彰では、幼稚園児からご年配の方まで幅広い世代から合計174点のご応募をいただき、「幼稚園でアジの三枚おろしに挑戦」や「家族全員そろってご飯を食べる」など個性豊かな宣言が入賞しました。

今年度も募集を開始していますので、ぜひご応募ください。



子ども達に食の大切さを伝える活動を行いました

第2回 食のみらい宣言

検索

食の安心・安全推進課 食育・地産地消担当 TEL：075-414-5656

ひとづくり・組織づくり

## 「海の民学舎」修了生が各漁村で頑張っています！

平成29年3月に2年間の研修を修了した「海の民学舎」の第1期生7名は、それぞれ漁業に就業したり、進路を見据えた研修を継続するなど、各漁村で頑張っています。また、修了生のうち2名は今年5月に府漁協の組合員資格を取得し、新たな漁師（漁業者）が誕生しました。

これら漁業の担い手を積極的に支援するため、京都府では「海の民学舎」修了生や一人前の漁師として自立をめざす50歳未満の府漁協組合員等を対象とした漁船等のリース事業を開始しました。

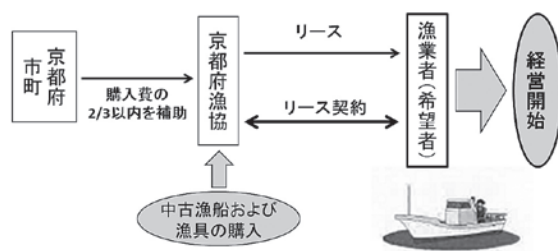
府漁協がリース事業者となり、京都府と沿海市町が漁船購入費の一部を補助することで、若い漁業者の就業を促進し、漁業、漁村の担い手の定住を応援します。

研修中の修了生▶



はえ縄漁業研修中の様子（宮津市養老地区）

・漁船等リース事業のイメージ



水産事務所 海のにぎわい企画課 企画・海の民学舎担当 TEL：0772-25-3030

ひとづくり・組織づくり

## 天王山の竹林整備体験会を開催しました！

森林や竹林の整備・活用に対する理解を深め、森林ボランティア活動に参加するきっかけづくりを目的として、「天王山の竹林整備体験会」を開催しました。

参加者は、天王山の森林整備に取り組む地元ボランティアの指導で竹林を整備するとともに、森林を守り育てることの大切さを学び、ボランティア活動への理解を深めました。参加者からは、「この体験をきっかけにこれからボランティア活動に参加する」との声が聞かれました。



竹林整備体験の様子（平成29年5月）

京都林務事務所 林務課 TEL：075-451-5724

再確認！

平成29年度農薬危害防止運動

6月～9月は強化月間



# シリーズ 農林水産技術センターへようこそ

## 京都府の研究機関の研究内容や成果をご紹介します

### 第4回 農林センター

京野菜、宇治茶や酒米など高品質な農産物生産の研究に加え、府内産木材利用や鳥獣害対策など地域環境の維持・保全のための研究に取り組んでいます

#### 研究1:「京 夏ずきん」の早期収穫技術を確立

祇園祭が近づくと観光客の増加が見込まれることから、市場からは7月上旬に販売できる府内産丹波黒大豆系エダマメの出荷が求められています。

農林センターでは、無加温ビニールハウスを用いて出荷時期をこれまでの8月から1ヵ月早める栽培技術を確立しました。低温期の育苗など新たな技術が必要ですが、ゆでたエダマメの糖含有量は、秋に収穫される「紫ずきん」とほぼ同等で大変甘く、高評価が期待されます。

現在、農業改良普及センターとともにタスクチームをつくり、南丹地域以北の現地ほ場で実証し、7月出荷を行う産地の形成に取り組んでいます。



収穫直前（6月）になったハウス栽培の「京 夏ずきん」

農林水産技術センター 農林センター 作物部 TEL：0771-22-5010

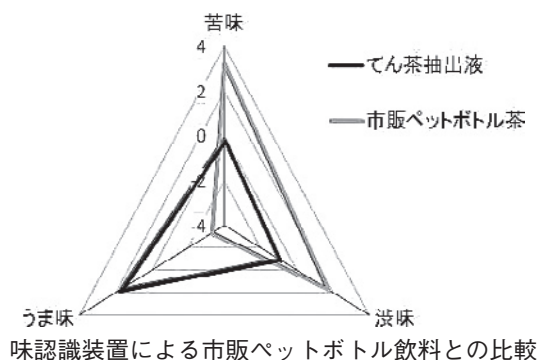
#### 研究2:てん茶のうまみ・機能性成分をいかした飲料製造方法を確立

てん茶は抹茶の原料であり、一般的には茶葉をそのまま飲料に使うことはありませんが、府内産てん茶の需要拡大に向け、すぐれた風味（味・香り）やテアニン\*の機能性をいかした新飲料の開発が期待されています。

そこで茶業研究所では、てん茶の風味はそのままに、リラックス効果のあるテアニン濃度を高め、カフェイン濃度を抑えた新しいタイプのてん茶飲料の製造技術を確立しました。

一般的な市販ペットボトル茶と比べ、うま味が強く、苦味・渋味が少ないという特徴があり、今後は共同研究先と連携して、商品化を目指します。

\*テアニン：茶に特有のアミノ酸でうま味のもととなる成分



味認識装置による市販ペットボトル飲料との比較



開発した新飲料

農林水産技術センター 農林センター 茶業研究所 TEL：0774-22-5577

# 地域の取組

## 丹後

### 「きょうと半農半芸プロジェクト」<sup>\*1</sup>がスタートしました

京都府では、吉本興業株式会社、株式会社丹後王国及び京丹後市大宮南地区との連携により、「きょうと半農半芸プロジェクト」に取り組んでいます。

このプロジェクトは、よしもとの若手芸人「せんのりきゅう」の2人が移住促進特別区域<sup>\*2</sup>である大宮南地区に1年間移住し、農山漁村での暮らしの魅力を発信するもので、4月16日（日）に丹後王国「食のみやこ」でスタート式を実施しました。



丹後王国「食のみやこ」でのお披露目の様子  
(平成29年4月16日)

現在「せんのりきゅう」は、丹後王国「食のみやこ」や地元農業者のもとで農業に従事する一方、地域のイベントに出演して芸を磨き、地域を元気にしています。

※1半農半芸プロジェクト：若手芸人が地域に移住し、農業に従事しつつ、自らの芸を磨くとともに、高齢者の見守りや買い物サポートなど、地域支援を行い、地域の活性化をめざすプロジェクト

※2移住促進特別区域：市町村からの申出に基づき、空家及び農地の活用による移住の促進や地域の活性化を図るための特別な対策を講じる必要がある地域として指定された区域

丹後広域振興局 農林商工部 企画調整室 地域戦略担当 TEL：0772-62-4315

## 中丹

### 綾部市「水源の里・古屋」<sup>こや</sup>にトレッキングルートが完成!!

トチの実を使った特産のもち等で地域振興に取り組む綾部市「水源の里・古屋」に、豊かな自然を活かしたトレッキングルートが完成しました。

ルート検討では、古屋でがんばろう会、水源の里集落等にご協力をいただき、子ども連れの家族や初心者から経験者まで楽しめる複数のルートを設定しました。



ルート検討現地調査  
(平成28年5月)

トチの実拾いなどで年間1千人近いボランティアが訪ねる古屋ですが、トレッキングルートをきっかけに、さらなる都市との交流の推進と地域活性化を目指します。ぜひ古屋にお越しいただき、自然の息づかいと四季の彩りを満喫してください。



案内看板 (平成29年3月)

中丹広域振興局 農林商工部 地域づくり推進室 計画管理担当 TEL：0773-62-2545

## 南丹

## 産地振興ふたたび 賀茂なす・壬生菜・伏見とうがらし

南丹地域では、京野菜のブランド化に取り組みはじめた頃から産地振興の中核を担っていただいた生産者の方々が、高齢化等でリタイアされ、作付面積が年々減少しています。その一方で、市場からの増産要望が強まっており、要望量を確保するための効果的な生産が課題となっています。

このような中、各市町の技術者会議を中心に、産地の規模拡大に向けた新たな取組が始まっています。亀岡市の賀茂なすや南丹市日吉町の壬生菜では、各生産者と個別面談を行い、綿密な出荷計画づくりを支援しています。また、伏見とうがらしでは、JAと普及センターによる合同研修会や定期巡回を行うなど、ブランド京野菜増産に向けた機運が高まっています。



伏見とうがらしの栽培技術を確認  
(平成29年6月)

南丹広域振興局 農林商工部 南丹農業改良普及センター 産地づくり担当  
TEL : 0771-62-0665

## 山城

## 地域産木材を活用した「移動式組立茶室」を開発!

山城地域の木材関係者が平成26年に設立した「山城 eco 木材供給協議会」では、平成28年度に「公募型木のまちづくり推進事業・木材6次産業化事業（豊かな森を育てる府民税）」を活用して、地域産木材の「移動式組立茶室」を開発しました。この茶室は木の香りが好評で、今年度は「お茶の京都」のイベント等でも、宇治茶の振る舞いととも展示します。

また、山城広域振興局の府民ホールにおいても展示を行い、広く府民のみなさんに地域産木材の魅力をPRしていきます。

この茶室は、山城 eco 木材供給協議会で販売とレンタル（有料）を行っています。詳細は、山城広域振興局森づくり推進室までお問い合わせください。



茶室は3畳以外のタイプもあります



宇治田原町ふれあいまつりでの風景

山城広域振興局 農林商工部 森づくり推進室 林業振興担当 TEL : 0774-21-3450

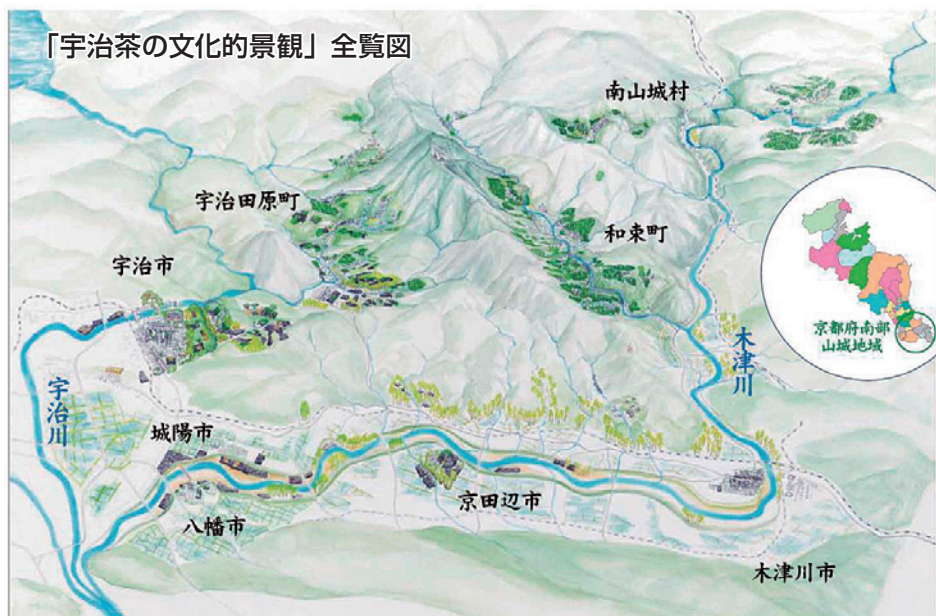
# シリーズ 世界に誇れる宇治茶の魅力



## 第4回 「宇治茶の文化的景観」を世界文化遺産に

京都府南部の山城地域では中国から伝来したお茶をもとに、この地域で発明された覆下栽培と宇治製法という生産技術によって、それまで世界になかった新しい緑茶、「抹茶」「煎茶」「玉露」を生み出しました。この日本独自の生産技術と流通・消費条件によって、山城地域には、茶園、茶工場、茶問屋等からなる「宇治茶の文化的景観」という独特の土地利用と景観が形成されています。この景観は、日本の緑茶という固有の文化的伝統の起源であり、その伝統的な生産技術を伝承する資産でもあります。

京都府では、このような宇治茶がもつ素晴らしさを多くの方々に伝え、人類共通の貴重な宝として将来にわたって継承していくことを目的に、世界文化遺産登録に向けた取組を進めています。



世界文化遺産登録に向けての取組については京都府 HP もご覧ください。

宇治茶の世界文化遺産登録 <http://www.pref.kyoto.jp/nosei/1331098394335.html>

農産課 宇治茶・特産振興担当 TEL : 075-414-4944

お知らせ

**「食」についての目標を宣言しよう！**  
**第2回**  
**「京都府食のみらい宣言実践活動」**  
**を募集します！**

**募集期間**  
**みらい宣言 9月15日まで**  
**実践結果 10月9日まで**

食に関する目標宣言と実践結果がわかる写真を募集し、表彰します！

第2回 食のみらい宣言 検索

お知らせ

平成29年度  
**京の食6次産業化コンテスト**

府内産農林水産物を使った  
**魅力的な新商品を募集します。**

出品者大募集！

**募集期間**  
**7月3日(月)**  
**～**  
**8月4日(金)**  
 ※当日消印有効

京の食6次産業化コンテスト 検索

発行／平成29年7月

編集／〒602-8570 京都市上京区下立売通新町西入 京都府農林水産部農政課 TEL : 075-414-4898 E-mail : nosei@pref.kyoto.lg.jp

京都府人権啓発イメージソング「世界がひとつの家族のように」は、「お互い支え合うことの大切さ」をイメージした歌です。

歌い広め、「いま、わたしたちにできること」を考えてみませんか

公式ホームページ <http://www.jinendo.co.jp/sekaigahitotsunokazoku/>